

1 ない	58%	44%	52%	33%	55%	49%	48.7%
2 ほとんどない	24%	40%	38%	40%	30%	43%	35.4%
3 週1回くらいある	9%	14%	5%	17%	12%	5%	10.7%
4 よくある	9%	2%	5%	10%	3%	3%	5.3%

- ・学校へ行きたくないと思うときに「ない」「ほとんどない」と肯定的に答えた児童が84.1%と昨年度とほぼ同じである。
- ・『週1回くらいある』『よくある』と答えた否定的回答は、4年生の割合が27%と高い。また、6年生は、8%ととても低い数値である。
- ・否定的な回答の理由について低学年では、「疲れているから」「眠いから」「勉強がいやだから」「友達と仲良く遊べないから」。
高学年では、「いやなことがあるから（悪口）」「疲れているから」「勉強が嫌だから」「休みの次の日から」となっている。（多い順）
- ・先生と児童・児童同士の間関係・クラスの雰囲気づくりなど、学校の力で解決できる問題もある。家庭での健康的な生活「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み等、家庭と連携を取りながら、取り組む必要がある。「眠い」「疲れる」などを防ぐ、基本的な生活習慣の確立や食生活の見直し等、引き続き保護者の協力のもと体調を整えていくことが求められる。
- ・長期欠席者については、1学期30日以上長期欠席は、0人。15日以上長期欠席は、1名（26日欠席）であったが、家庭と連携し、学校への登校を促している。

3 学校の勉強がわかりますか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 よくわかる	44%	56%	52%	38%	41%	54%	47.2%
2 だいたいわかる	52%	37%	42%	55%	54%	42%	47.2%
3 あまりわからない	2%	7%	6%	7%	5%	4%	5.3%
4 わからない	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0.3%

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

1 よくわかる	63%	31%	50%	27%	48%	49%	44.3%
2 だいたいわかる	31%	63%	45%	63%	50%	51%	50.7%
3 あまりわからない	4%	4%	5%	8%	2%	0%	3.9%
4 わからない	2%	2%	0%	2%	0%	0%	1.1%

- ・学校全体でみると95%の児童が、学校の勉強が『よくわかる』『だいたいわかる』と肯定的に答えている。
- ・『あまりわからない』『わからない』と答えた児童は、5%と昨年度に比べやや減っている。
- ・気になる点は、4年生の「あまりわからない」「わからない」の割合が10%あること。中学年で学習が難しくなる時期なので、より一層丁寧な指導が求められる。
- ・高学年になるにつれ、「わからない」と回答しにくくなってくるのが考えられる。
- ・低学年の学習の基礎に立って高学年の学習が展開していくので、低学年からの学力の保証をしていかななくてはならない。そのためには、主体的に学習する意欲や学び方を育成していくこと。また、「わかる授業づくり」や「学習したことの定着」「家庭学習の充実」を、全職員で意識して実践していきたい。
- ・本校は市より「学びの質を高める授業づくり推進事業」に指定されている。授業づくりについて研修を重ね、子どもが主体への授業へと転換をすべく取り組んでいる。

4 困ったときに相談できる人がいますか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 いる	85%	90%	88%	97%	92%	96%	91.6%
2 いない	15%	10%	12%	3%	8%	4%	8.4%

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 いる	76%	85%	95%	94%	95%	95%	90.0%
2 いない	24%	15%	5%	6%	5%	5%	10.0%

- ・90%の児童が、『いる』と答えている。(昨年度より1.6%低下)
- ・3年生以上は、94%以上の児童が相談できる人がいると回答している。
- ・相談する相手は、1年生は、「親(母親が多い)」という記述が多く、次に「先生」「友達」の順に多い。2年生から「友達」という記述が多くなり、「親」「先生」の順番になっていく。中学年・高学年になってもその傾向が続いている。
- ・相談する人がいないと答えた児童については、引き続き担任の方で気に留めて観察や声かけをしていき、児童の心の居場所をつくっていく必要がある。また、昨年度から設置されたスクールカウンセラーを活用していくことも考えていく。

5 しっかりそうじができましたか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 よくできた	77%	44%	54%	40%	51%	68%	55.6%
2 できた	21%	44%	44%	57%	49%	32%	41.3%
3 あまりできなかった	2%	12%	2%	3%	0%	0%	3.1%
4 できなかった	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 よくできた	80%	63%	57%	50%	58%	68%	62.2%
2 できた	11%	35%	36%	48%	37%	30%	33.2%
3 あまりできなかった	9%	2%	7%	2%	5%	2%	4.6%
4 できなかった	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%

- ・約95%の児童が、「よくできた」「できた」と答えている。昨年度とほぼ同様の結果だった。
- ・全校では、「よくできた」と答えている児童が62.2%で昨年より6.6%上がっている。
- ・特に2・4・6年生は、「よくできた」「できた」と答えている児童が98%と多い。
- ・普段の様子でも、各学年ともそうじを一生懸命やっている児童の姿が見られる。また、時間いっぱい使って、きれいにしようという意欲をもって取り組んでいる。
- ・引き続き、師弟同業でそうじ指導を行っていく。

6 進んであいさつができましたか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 よくできた	65%	52%	31%	28%	41%	54%	44.5%
2 できた	29%	37%	44%	42%	49%	36%	39.2%
3 あまりできなかった	6%	9%	23%	30%	10%	10%	15.6%
4 できなかった	0%	2%	2%	0%	0%	0%	0.7%

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

1 よくできた	69%	32%	31%	29%	33%	54%	40.5%
2 できた	29%	38%	50%	50%	41%	38%	40.9%
3 あまりできなかった	2%	26%	17%	17%	23%	5%	15.7%
4 できなかった	0%	4%	2%	4%	3%	3%	2.9%

・「よくできた」「できた」が81.4%と若干減っている。

「よくできた」「できた」の割合が高いのは1・6年生（90%を超えている）である。

- ・今学期は、コロナのため「児童会のあいさつ運動」、「クラスのあいさつの取組」があまりできていない状況である。そのためか、学校でも「自分から進んで」・「大きな声で」あいさつができる児童は昨年度より少ない。また、地域でもできていない現状がある。
- ・学校全体で今の状況を改善していき、家庭とも連携しながらさらなる取り組みを行っていく必要があると考える。

7 携帯電話を持っていますか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 自分のものを持っている	35%	17%	29%	43%	45%	41%	35.1%
2 兄弟で使うのを持っている。	14%	23%	17%	15%	10%	20%	16.7%
3 持っていない。	51%	60%	54%	42%	45%	39%	48.2%

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 自分のものを持っている	4%	19%	21%	48%	48%	17%	28.1%
2 兄弟で使うのを持っている	11%	19%	10%	25%	8%	5%	13.1%
3 持っていない	85%	62%	69%	27%	44%	78%	58.8%

- ・自分専用、兄弟で共用で「持っている」児童が、41.2%と、昨年度に比べるとかなり減った。（10.6%減）4年生は所持している児童の数がずば抜けて多い。（73%）
- ・児童が自分で購入することはできないので、持たせる必要があるのか、正しい使い方を指導しているのか等、保護者の指導力を必要とするところが大きい。

8 家の人と（携帯電話を使う時の）ルールを決めていますか。

昨年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 きめている	71%	31%	45%	52%	52%	39%	47.9%

2 きめていない	29%	69%	55%	48%	48%	61%	52.1%
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

今年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
1 きめている	86%	48%	54%	57%	62%	63%	58.5%
2 きめていない	14%	52%	46%	43%	38%	37%	41.5%

- ・ルールを決めている家庭は58.5%で、昨年度に比べかなり増えている。1年生はルールを決めている率が高い。5・6年生の「ルールを決めている」と答えている児童が30%台とかなり低い状況である。
- ・決めているルールとしては、多い順に「時間を守る」50人、「使い方に気をつける」24人、「必要な時だけ使える」5人
- ・携帯電話を子どもに持たせるとどんな危険に巻き込まれるのか、防犯教室等で学習して理解してもらい、子どもが事件やトラブル等に巻き込まれないように指導を継続していくことが大切である。(毎年1学期に5・6年生が防犯教室で学習をしていたが、本年度は2学期に県警のDVDを借りて行う予定。)それには、親子での「ルールづくり」が大切である。携帯電話については日進月歩で進化していくので、これからも学校や学級からも懇談や学年部会、おたよりなどで継続的に家庭に働きかけをしていく必要があると思われる。